

第36回オートサービスショー2019、開催

自動車技術の進化や制度改定の動向を受けて 次世代の自動車整備・修理業界を見据えた提案がなされる

第36回オートサービスショー2019(主催:日本自動車機械工具協会)が5月16~18日までの3日間、東京ビッグサイト青海展示棟(東京都江東区)で開催されました。

「次世代へ 変わるクルマと自動車整備」をメインテーマに掲げた今回、OBD車検や特定整備などの制度改定の動向を受けて、先進安全装置の調整作業に関する出展が目立ちました。

車両とセンサー調整用ターゲットの位置調整を効率化させるツールや、カーメーカー各社・各車種のセンサーに対応するター

ゲット一式など調整作業をサポートするツールのほか、先進安全装置が正常に動作するために重要となるボデーアライメント及びホイールアライメントの計測・調整に関する機器が多く展示されています。

またアルミや高張力鋼板など、素材の多様化に対応する製品にも注目が集まりました。スポット溶接機では、溶接する対象の材質、板厚を検出し溶接条件を自動で設定することで溶接条件設定の効率化及び条件設定不備の防止に貢献する機器や、溶接時の設定及び結果を保存し作業品質を内外に示すことができる機器が展示され、業界内

外における修理品質への関心の高まりがうかがえました。

塗装分野では、コンピューター調色システムの活用による調色作業の効率化や、工場稼働する塗装ブースの状態をインターネット経由でメーカーが確認することで、トラブルや不具合の発生を防止する機能など、先端技術を活用した各種提案が見られました。

会場内には最新情報を求める自動車整備・修理工場経営者をはじめとした業界関係者が多く足を運び、来場者数は3日間合計で37,245人に上りました。



ホイールアライメントテスターや先進安全装置調整用ターゲットセット、ターゲット位置調整サポートツールなどが多く展示された



スポット溶接機では、溶接条件を自動で設定し、作業効率の向上及び作業品質の標準化につながる機器などが紹介された



アルミ合金に対応したスタッド溶接機や、接着剤を用いた引き出し钣金システムなど、アルミパネル修復への提案もなされた



塗料メーカーのブースでは、水性塗料をはじめとした環境対応型塗料や、調色作業の効率化に貢献するコンピューター調色システムなどが紹介された



塗装ブースの状態をインターネット経由でメーカー側から確認できるシステム。トラブルが発生した際の原因調査などに活用が可能で、塗装ブースの故障による生産性の低下を防止・削減する効果が期待できる



オゾン層保護法の改正を受けて、今後国産車でも採用車種の増加が見込まれる新冷媒に対応した冷媒回収再生装置に注目が集まった

工場ルポ

吉田整備株式会社

代表者：吉田猛志
所在地：岐阜県可児市下恵土446

鈴木良美専務に工場の取り組みについて伺いました。

・工場の概要を教えてください

創業は1961年。当初は吉田モーターズの名で二輪販売店として開業しました。その後、モータリゼーションが始まったことを機に車両販売と整備にも力を入れ、1971年に現在の吉田整備株式会社を設立しました。スタッフ数は社長、私、整備6人、営業3人、事務5人の計16人です。月間の入庫台数は整備・車検で月130～150台、钣金は月30～35台です。

・NGPリサイクルパーツの活用法は？

販売店が近いこともあり、お客様に対してスピーディーで安価な提案をすることができています。それまでは解体業者

頼みでしたが、NGPのパーツは品質もしっかりしているので安心して使うことができています。

・工場の今後の課題や取り組み、展望などを聞かせてください

可児市は名古屋市のベッドタウンですが、地域の高齢化もあり車の保有台数は

減少傾向にあります。また、進化していく自動車への対応も必要不可欠です。

そのような状況にあっても当社の経営理念である【私たちは感謝の気持ちと絆を大切に、自動車事業を通してお客様と社員に信頼される会社を目指します】を忘れず、お客様に選ばれる整備工場を目指していきます。



工場外観と鈴木良美専務

株式会社東濃サービス多治見

代表者：亀谷圭
所在地：岐阜県多治見市虎溪山町7-3

亀谷圭社長に工場の取り組みについて伺いました。

・工場の概要を教えてください

1970年ごろに東濃サービスとして車検、整備、新車販売をメインに開業しました。私は学校卒業後、ディーラーで整備を担当していましたが13年ほど前に東濃サービスへ入社し7年間勤めた後に、多治見店として独立をしました。現在は私とアルバイトの2人で業務にあたっています。時期的なものもありますが、月間の入庫台数は60台ほどになります。

・NGPリサイクルパーツの活用法は？

中古車カーオーナーや、保険を使わないお客様、保険案件で過失があるお客様などにリサイクルパーツのメリットを細かく説明をして新品とどちらにするかを

選択していただいています。部品品質も良いので安心して勧められます。

・工場の今後の課題や取り組み、展望などを聞かせてください

電気自動車の整備やOBD車検など対応しなければならない課題は多くありますが、一つひとつしっかりと学んでいき、

直せない車がないようにしたいと思っています。

また、近年減少傾向にある入庫台数を維持拡大させていくため、自分自身でできる限りのことをやり、地域との密着を強めて30年後も信頼される工場であり続けられるように努力していきたいと思っています。



工場外観と亀谷圭社長

損保料率機構、 「自動車保険の概況」2018年度版を発行

損害保険料率算出機構（損保料率機構）はこのほど、「自動車保険の概況」2018年度版（2017年度データ）を発行しました。同書は統計数値などを用いて、自賠責保険及び自動車保険の仕組みや一般的な補償内容、収支動向、自賠責保険の損害調査などを保険契約者や交通事故被害者などに知らせることを目的としたものです。同書の中から、自動車保険の収支などについて紹介します。

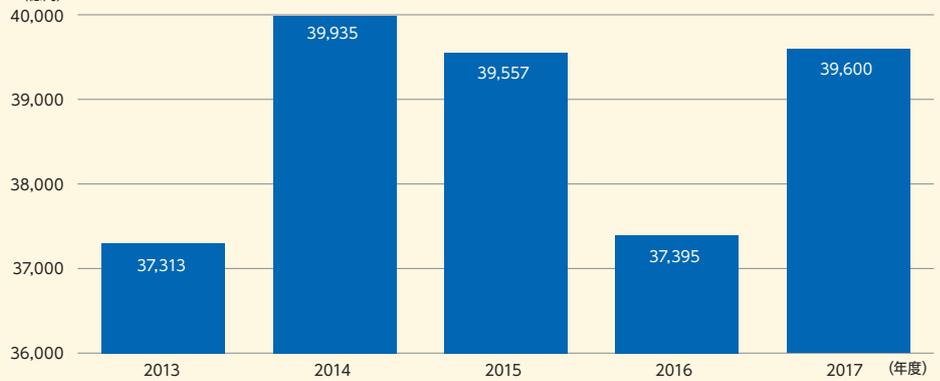
それによると、2017年度の任意自動車保険の収入保険料（グラフ1）は3兆9,600億円で、前年度に比べ2,205億円（5.9%）の増加でした。一方、支払い保険金（グラフ2）は1兆9,247億円で同比297億円（1.6%）の増加でした。補償種目別の支払い保険金では、車両保険が前年度（6,335億円）より295億円（4.7%）、対物賠償は40億円（0.6%）増加し6,948億円となりました。2017年度は豪雨や台風など自然災害が多く発生したことも、車両保険の支払い保険金の増加に影響したと考えられます。

支払い1件当たりの修理費の推移（グラフ3）では、車両保険は前年度（283.6千円）から6.7千円増加し290.3千円、対物賠償も同比4.8千円増となる261千円となっています。修理費の費目別統計では、車両保険では部品費が前年度比3,797円（2.5%）増の153,197円、工賃が同比1,897円増の63,036円、対物賠償責任保険では部品費が同比3,389円増の130,812円、工賃が同比834円増の59,074円となっています。

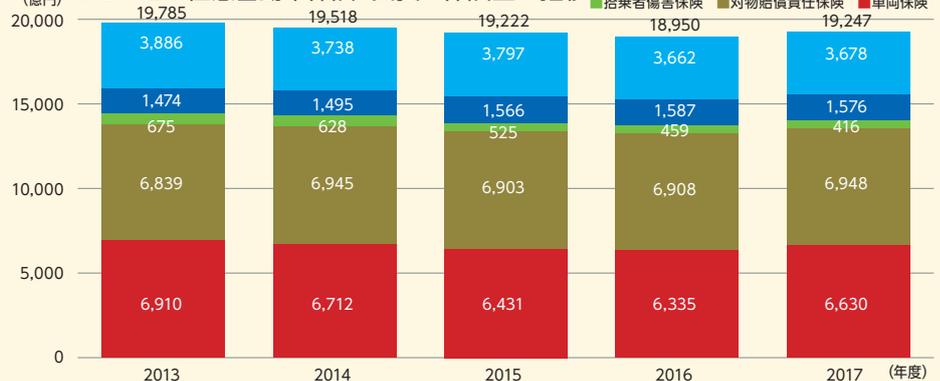
車両保険、対物賠償責任保険のいずれにおいても部品費が増加しており、先進安全装置の普及などによる部品価格の上昇がその一因と考えられます。

自動車保険等級制度改定以降、保険契約者は次年度以降の保険料上昇を考慮して少額の保険請求を控える傾向にあります。自費での修理を望むカーオーナーへ向けて、ぜひ高品質なNGPのリサイクル部品をご提案いただき、顧客満足度の向上につなげていただければ幸いです。

グラフ1 任意自動車保険・収入保険料の推移



グラフ2 任意自動車保険・支払い保険金の推移



グラフ3 支払い1件当たりの修理費の推移



NGP 今月のCO₂削減量

リユース部品利用に伴うCO₂削減量

平成31年4月: **2,549t**

リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

平成31年4月: **1.7t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む）115品目を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

軽検協、軽自動車OSSの継続検査を開始

軽自動車検査協会（軽検協）は、軽自動車保有関係手続のワンストップサービス（軽自動車OSS）の継続検査（指定整備）を5月7日より開始しました。

軽自動車OSSとは、軽自動車の保有に関わる各種手続きや税・手数料の納付をインターネット上で一括して行うサービスのことで、

政府は「未来投資戦略2018」などにおいて、自動車保有関係手続のワンストップ化に取り組む方針を示しており、関係省

庁において検討が進められてきました。OSS手続きの拡充を目的に行政書士法施行規則の一部が改正され、軽自動車の継続検査の申請手続きを行うものとして、日本自動車販売協会連合会（自販連）、日本自動車整備振興会連合会（日整連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）を指定（2019年4月26日公布、同年5月7日施行）しています。

これを受けて軽検協は「軽自動車OSSポータルサイト」を公開し、5月7日より

サービスの運用を開始しました。

なお、新車新規検査のOSS対応について軽検協は「円滑な運用を図る観点から、今般の継続検査OSSの進捗状況を踏まえつつ、新規継続検査OSSに関する申請者側の関係システムの構築や事務作業の習熟等に依る準備期間を十分に確保した上で開始することが望ましい」として、運用開始時期を再検討することとしています。

NGP組員 かわら版

2019年度ベルマーク運動説明会に各地のNGP組員が出席 全国のPTAに向けて、NGPリサイクル部品の品質をPR

NGP協同組合が協賛団体として2012年より加入しているベルマーク教育助成財団（銭谷眞美理事長）は、5月7日から6月21日まで、全国95会場で「2019年度ベルマーク運動説明会」を開催しています。NGPは全国24カ所の会場に出席し、全国のPTA役員へ向けてNGP協同組合の取り組みやサービスをPRします。

5月21日に千葉県教育会館新館（千葉県千葉市）で開催された説明会には、NGP協同組合の平野泰雄・総務広報委員会副委員長が出席しました。

平野副委員長は協賛企業挨拶で近隣小

学校のPTA役員を中心とした来場者に向けて、廃車王サービスやNGPリサイクル部品の品質、環境保全への効果などについて解説し、自動車整備・修理時のリサイクル部品の活用を呼びかけました。

また協賛企業ブースでは、NGPの各種取り組みやサービスを紹介するリーフレットを配布し、リサイクル部品の認知度向上に努めています。



組員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
北関東	リ・パーツ 株式会社坂井自動車	会社代表	代表取締役 坂井 眞美	2019年2月18日
北関東	株式会社拓殖商会	会社代表	代表取締役 塩谷 剛史	2019年5月1日
東海	エコパーツ岐阜株式会社	移転	〒509-0201 岐阜県可児市川合上市2608-87	2019年5月1日
東海	株式会社コマゼン	社名	株式会社カーグリーンコマゼン	2019年5月1日
北海道	株式会社ボード	移転	〒099-0878 北海道北見市東相内町664番地2	2019年5月7日
中四国	株式会社桃太郎部品	移転	〒701-0145 岡山県岡山市北区今保661-11 TEL086-244-1100 FAX086-244-9900	2019年5月30日



「夢」か「現実」か!?
春の選べる
ダブルキャンペーン
2019
応募締め切り迫る!!

6月30日（当日消印有効）まで
ご応募いただけます。
皆様のご応募をお待ちしております。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<http://www.ngp.co.jp/>